

【概要】

11月5日、平成30年7月豪雨(①7月豪雨の概要、②ダムについて、③河川及びダムの事業効果、④平成30年7月豪雨における課題と対応)について協議会構成員ならびにオブザーバーと意見交換を行った。また、今後のスケジュールについて協議会に諮り、協議会構成員の賛同をいただいた。

【主な発言】

○ダムについて

【川本町長】

浜原ダムは貯水機能を持たせることは出来ないのか。

【中国電力株】

浜原ダムは利水ダムであり、治水機能を持たせることは構造上できない。

【江津市長、美郷町】

ダム建設当時と情勢が変わっており、治水効果を持たせる操作方法等について検証をお願いする。

【浜田河川国道事務所長】

全国的にダム運用方法について、検証の動きがある。

○タイムラインについて

【江津市長】

避難指示(緊急)のタイミングを見直す必要がある。

【浜田河川国道事務所長】

7月豪雨を受け、見直す予定である。また、「多機関連携タイムライン」を作成予定のため協力して頂きたい。

○情報の一元化について

【江津市長】

道路管理者毎の規制情報は一本化すべき。

【浜田河川国道事務所長】

地域の方々に有用な情報を発信することが重要である。情報の共有、一元化について検討する。

開催日:平成30年11月5日(月)

場所:浜田河川国道事務所 会議室

参加機関:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、
松江地方気象台、浜田河川国道事務所

オブザーバー:島根県浜田県土整備事務所、
島根県県央県土整備事務所、
中国電力株、三次河川国道事務所、
土師ダム管理所



平成30年度第2回江の川水系(下流)減災対策協議会の状況